

# やすらぎ

平成25年12月発行

医療法人社団 芙蓉会

ふよう病院

芙蓉ミオ・ファミリア町田

グループホームあおぞら

千葉芙蓉病院

きやらの樹ケアセンター



ふよう病院



## ふよう病院 9月院内職員研修会

## 『認知症』 発表者の佐藤院長 による内容の抜粋

### 高齢者認知症の原因について（三つの仮説）

従来より高齢者認知症の原因として脳内に異常蛋白（アミロイド・ベータなど）の蓄積の結果、神経細胞が変化・脱落しアルツハイマー病が発症する、という「アミロイド」仮説が主流です。

一方、高齢者認知症の大部分（約90%）は「老化・廃用性」に由来し、ボケるボケないは、それまでの生き方（ライフスタイル）によって決定されるとする仮説をある脳外科医（金子満雄）が提唱しています。ボケを一種の生活習慣病と捉え、脳内では前頭前野と右脳の重要性が強調され、種々の脳トレーニング及び出来るだけ完成を磨く生き方を勧めています。

三つ目の仮説は、介護職（三好春樹）の立場から提唱された「関係障害」仮説です。認知症

を「老いた自分との関係障害」として捉えようとするもので、老いた自分と現実の自分とが適応不全をおこしている状態とみます。その際の反応・問題行動の違いに応じて、葛藤型、回帰型、遊離型の三種に分類されます。それぞれのタイプの患者さんの思いと介護者のとるべき対策について説明がありました。



## ふよう病院 10月院内職員研修会 『食中毒について』

## \* 原因物質

食中毒の原因物質は細菌性、ウイルス性、科学性、その他に分類される。細菌性食中毒は細菌そのものによる感染型、細菌の毒素による毒素型に分かれ、原因となる細菌としては前者ではサルモネラ、カンピロバクター、O-157、黄色ブドウ球菌、後者ではノロウイルス、ロタウイルスなどがある。

## \* 発生時期

細菌性食中毒は夏季、ウイルス性食中毒は冬季に多発

## \* 食中毒の予防

- 1 菌が食品に付着する →
- 2 食品中で菌が増殖する →
- 3 一定量の菌を含む食品を食べる →

## \* まとめ

日頃から健康管理と衛生管理を徹底し感染の予防・拡大防止に努めることが大切



## 食中毒予防の三原則

菌を付けない（清潔・洗浄）  
菌を増やさない（迅速・冷却）  
菌をやっつける（加熱・殺菌）

**徹底!**

## 昼食バイキング

今年も館内のポスターに解体ショーの予告があり、ご入居者様もスタッフも楽しみにしていました。今年も解体ショーをじっくりとご覧いただき、お食事の前にオープンキッチンの前に集まって頂きました。12kgもある北海道産の鰯があつという間にさばかれていき、ご入居者様にも「こんなに近くで見たことが無い」と大変喜んでいただきました。さばいたお刺身が盛り付けられている間に席に着いて頂き、そのあとは目にもおいしいお料理を思う存分召し上がっていただきました。



## 懐メロ一座

11月9日、昨年好評だった「懐メロ一座」がまた今年もお越し下さいました！さまざまな施設を訪問し、行く先々で大人気のボランティアグループです。

照明から舞台装置まで本格的で、衣装も楽曲と合って素晴らしい演出でした。昭和の懐かしいメロディーに誘われ、若き良き時代にタイムスリップしたようで、ご入居様方も大喜びで楽しい様子でした。



## 中学生職業体験

11月28日、29日の2日間、つきみ野中学校の生徒さんが2名、職場体験に来てくれました。ご入居者様から戦争体験の話の聞いたり、「これから結婚もして・・・」と励まされたり。一緒に体操やお花紙でお花を作る作業もしてもらいました。

お二人には「初日はとても緊張しました」「昨日作ったお花でクリスマス飾りを一緒に楽しく作ることができました」「お年寄りと接する事は大変難しいと感じましたが、介護の仕事はやりがいがある仕事だと思いました」と2日間の介護体験の感想を話してくれました。



## あおぞらの暮らし

### 10月3日（木）中庭流しそうめん

あおぞらを寿退社された職員より、毎年いきいきとした竹を届けていただき、中庭流しそうめんにご利用させていただいています。中庭流しそうめんでは、そうめん以外にミニトマト、うずらの卵、ぶどうも流しました。

色々なものが流れてきて、利用者さんも楽しそうに一時を過ごすことができました。



### 10月22日（火）南第一小との交流会

毎年恒例になっている「南第一小学校3年生との交流会」に参加してきました。子供達から手を取ってもらい体育館に案内され、会が始まりました。リコーダーの演奏、よさこい踊りを披露していただき沢山の元気をいただきながら、一緒に大きな紙風船を折って風船バレーをした時には「ちゃんとやらなきゃだめよ」と注意する場面があったりと、利用者さんの色々な顔が引き出せた場でもありました。



### 11月10日（日）町田夢舞生ツスイ祭に参加

地域の方々とご家族と一緒によさこいを踊りました。ご家族からは、「一つの事を一緒に楽しめる時間をありがとうございました。」「サポートされているのだけれど、自然な感じでサポートしている所が素晴らしい。」等コメントをいただきました。認知症「友の会」の皆さんありがとうございました。



## 院内研修会『ノロウイルスについて』

10月31日(木)、＜感染対策＞ノロウイルスの予防と対応について、研修会を行いました。講師は丸石製薬の方で、感染予防・感染経路遮断の方法、基本となる手指衛生、手指消毒・洗浄法などについて、スライドを使用しわかりやすく説明していただき、とても参考になりました。

特に、突然あらわれる状況に対応し、汚染物を効果的に処理するには、普段からの学びが重要です。

これからノロウイルス等による胃腸炎の流行する季節ですので、今回の研修を活かして職員一同、注意していきたいと思えます。



## 夜間想定のコラボ防災訓練

さる11月14日にきやらの樹ケアセンターにおいて夜間想定のコラボ防災訓練を行いました。夜勤者役の職員が火災の発見に始まり、千葉芙蓉病院の職員に応援を求め、駆けつけた病院職員とともに避難救助にあたり

という流れでした。先日の病院火災を踏まえ、いつ自分の身に降りかかるとやも知れない夜間の災害に真剣に取り組みました。お預かりしている高齢者の皆さんを守るため更に研鑽していきます。



## 食べやすい食事づくり研究

### 試作料理名

#### ツナとれんこんのごまコロッケ（4人分）

#### 材料

ツナ缶 . . . . 1缶  
れんこん . . . . 300g  
たまねぎ . . . . 150g  
塩 . . . . 少々  
こしょう . . . . 少々  
ゴマ . . . . 少々

#### 作り方

- (1) 玉ねぎはみじん切りにし、油を切ったツナとボールに入れて混ぜる。
- (2) れんこんをすりおろして(1)に加え、塩こしょうを入れる。
- (3) 8個～10個にまとめる。水分が多かったら少しパン粉を入れる。



- (4) 小麦粉・卵・パン粉（ごまを混ぜる）を付けて揚げる。

#### 工夫した点

旬のれんこんを使ってコロッケを作ってみました。ツナが入りさっぱりとしていると思います。パン粉はパンの耳を使用しました。

#### 感想

常菜は味良く、れんこんの歯ごたえがあり美味しかった。

### 試作料理名

#### 栗とれんこんと鶏肉の煮物（20人分）

#### 材料

栗 . . . . 500g  
れんこん . . . . 400g  
鶏もも肉 . . . . 400g  
人参 . . . . 200g  
ごま油 . . . . 10g  
だし . . . . 600 c c  
濃口しょうゆ . . . . 100 c c  
みりん . . . . 50 c c  
酒 . . . . 30cc  
キヌサヤ . . . . 150g

#### 作り方

- (1) 栗、れんこん、人参を一口大の大きさに切る。
- (2) 鍋にごま油を熱し、れんこん、人参、栗を炒める。

- (3) 油が回ったら、鶏肉を加え炒め、調味料とだしを加える。
- (4) 約15分煮たらキヌサヤを飾る。

#### 工夫した点

旬の栗をれんこんと人参と鶏肉と一緒に炊き合わせてみました。彩りを良くするためにキヌサヤを飾りました。

#### 感想

秋らしくて良い。少し味が濃い目だが主食と一緒に食べればちょうど良いと思う。



## またも台風で行事が変更

きゃらの樹ケアセンターで10月26日に予定されておりましたボランティアグループによる芸能鑑賞会は、台風27号の影響で内容変更となりました。9月は18号で敬老会が中止になったばかりでしたが、またしても台風に翻弄されました。

楽しみにされていたご利用者の皆様、関係者の皆様、ご家族様たいへん申し訳ありませんで

した。

というわけで、レクリエーション大会を急遽実施。3階ではダンボールをイケスに見立てて「魚釣り大会」でした。最初は気の乗らないご利用者様も始めてみればすごい集中です。2階は「福笑い」で結果は写真をご覧ください。1階では「紙芝居」で認知症を患っていらっしゃるご利用者の皆さんも真剣に見入ってくださいました。





## 新しい事業所の開設準備を進めています

千葉県君津市南子安に念願の在宅事業所を開設する予定です。同じ君津市内において昭和50年から「千葉芙蓉病院」の事業を行っていますが、君津市内や近隣市に在住の方でもご存じ無いというケースが多いようです。

今回開設するのは、「居宅介護支援事業所（名称：千葉芙蓉ハーモニー）」と「訪問介護事業所（名称：千葉芙蓉ステーション）」の2つの事業です。恐らく11月号の『やすらぎ』が発行される頃は、無事に千葉県から指定事業所番号も頂いていると思います。事業の概要はホームページのトップページからご覧になれるように準備をいたします。

